

分岐点に立って

2021年12月26日

マタイ 7・13～14 狭い門より入れ

マタイ 19・16～29

マルコ 10・17～30

ルカ 18・18～30

序：イエス・キリストは罪人（失われた人）を捜して救うために来られた

ベツレヘムの羊飼いたちも御使いの言葉に従い、探して見つけて礼拝（ユダヤ人）

東方の博士たちも星に導かれ、救い主を探し、尋ね求めて見つけて礼拝（異邦人）

マタイ 7・7	求めよ	そうすれば与えられる
	探せ	見出す
	叩き続けよ	開かれる

真の弟子となるには

I. 狭い門から入る

目に付きにくい

たくさんものを携えては通れない（入るために妨げになるので置いて行く）

そこから入る人は少ない

細い路が続く

ゴールはいのち（天国）

見出す者は少ない

×広い門から入る

目立つ

何も制限なしに自由に通れる

そこから入る人は多い（そもそも生まれながらの人はここ）楽しく、楽

広い路が続く

ゴール滅び

多くの人がそこに留まる

イエス・キリストを探し求め、見出し、ついて行く

狭い門に続く路は途中で広くはならない（細く険しい）

しかし、到達するのはいのち

II. 分岐点に立つ

どちらかを選ばなければならない（二股はだめ・どっちつかずは不可）
どちらを選ぶかで結果は違ってくる（何を重要視するか？ 苦楽？ 損得？）
例：クリーブランド大統領（米国22代&24代）と友人

III. 金持ちの青年

まじめな求道者
イエスをすばらしい教師と認めた（主としてではなく）
ユダヤ人として、幼い頃から律法を守ってきたという自負
行いに重点 「永遠のいのちを得るには、何をしたらいいでしょうか？」

イエスと青年の問答（週報の裏面参照）

十戒のうち、対人の戒め（5～10）を守ったか
子どもの頃から守ってきた
イエスは第十戒を省いて尋ねた（この青年の罪はむさぼりと承知しておられた）

||

あなたに一つ欠けていること

すべきこと＝財産を売り払って、貧しい人に施し
青年はそうしなくなかったため、悲しみながら去っていった
主に従うために、犠牲を払えなかった
機会を自分で潰した

IV. 私たちの場合

今までの人生で幾度となく、選択、決断をしてきた（日常茶飯事、特別なこと）
相応しかった時も、失敗もあった 「たられば」論争は空しい
2021年も、様々な決断をしてきた
2022年はさらに難しい時代になる（大小さまざまな判断・決断・行動が必要
最高の助言者イエスさまに相談、聖霊の助け、みことばに基づいて。

狭い門、細い路、しかし行き着くところはいのち、御国